

だれでも幸せになれる教えです!!

# ひかり

2022年

10月

206号



- ◇ 人生の迷子になるな
- ◇ 幸せな人も不幸な人も一生懸命
- ◇ プロの意見を聞いて
- ◇ 年をとっても転ばない心構え

宗教法人 真生会

# 信仰の視野を広げよう

『自分から家族へ、家庭から社会へ』

## 真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

### ◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

### ◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

### ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

# 七五三詣り、子供災難除け祈願

11月13日(日) ご祈祷

幼児や小学生の悲惨な事件や事故が多発しています。

仏さまの良きご縁に守られて  
安心安全な毎日を過ごしましょー!!

総本山真生寺、大阪教会にて  
ご祈祷お祓い致します。  
お早めにお申し込みください。



家庭の中を楽園にしよう!!

**真生寺・真生楽園一斉勤労奉仕**

11月20日(日)

AM 9:00 ~ PM 2:00

楽園奉仕の徳積みで、家庭楽園の功德を頂きましょう!

老いも若きも、お子様も連れてご家族で

勤労の汗を楽しくを流しましょう!

草取り奉仕で、心の雑草を抜きましょう!

窓ふき・お社や仏具のお磨き奉仕で心を明るく磨きましょう!

秋季彼岸先祖大法要



幼児・学童奉獻の儀



婦人部ご詠歌奉納



幼児たちも後片付けお手伝い



九月十八日（日）台風接近の中、雨間の晴天に守られ、総本山真生寺、大阪教会に於いて秋季彼岸先祖大法要が厳修されました。



大阪、婦人部役員の読経



大阪、谷口教会長法話



# 開祖さまのみ教え

開祖 田中 偉仁

私達の日常生活は毎日が喜べる日ばかりではありません。家の中で、畳の上で、毎日怒ったり愚痴をこぼしたりして、どれくらい罪を作っていることでしょう。あたかもほりが溜まるのと同じ状態です。家のほりは毎日掃除しますように、月に一回ぐらいは教えを聞いて心の大掃除をしない限り、特別に大きな悪い事はしていなくても、知らぬ間に業は累積され、ある日突然思いもよらぬ問題が起きて右往左往することになります。

故に悲しいことが起きる前に、少しでも徳を積み、罪の大掃除をしておかなければなりません。善行は、そろばん勘定から言えば損ばかりでしょう。しかし、損のくじが喜んで引ける間は栄えます。歩の良い話に飛びついた人が、最後大失敗しているのが世の中の姿です。

(1979年、真実に生きるひかり11号より)

# ぶし眞教法話

会長 田中 庸仁



## ◇人生の迷子まいごになるな

季節は実りの秋、収穫しゆうかくの真ただつ只中ただなかです。皆さんの人生は充実していますか。たくさんたくさんの収穫はありそうですか。

こんなに一生懸命しゆうけんやっているのに何故？

一体自分は毎日何をやっているんだろう？

このままでいいんだろうか？と、人生の迷子まいごになっなっていませんか。ひた向むかきに努力どりよくしているのに、心にも生活にもゆとりがなくなっなっていませんか。

目先のことばかり、一生懸命しゆうけんになっなってはいませんか。反対はんたいに夢ばかりが大きい足元あしもとが揺ゆいでいませんか。今どこいまどこにいて、どこどこに向むかかって進すすんでいるのか、居場所いばしよも目的もくてき地ちもわからなくなり、茶ノ木畑ちのきばたけに迷まよい込み、毎日まいにちが不安ふあんと不満ふまんに

囲まれ、人生の迷子になっていませんか！

道に迷った時は出発点、原点に戻ることです。

就職した時の原点、結婚した時の原点、子供が生まれた時の原点。

「初心忘るべからず」最初はどんなに純粹で素直だったか、あの時の情熱はどこへ行ったのか、原点に戻って人生を眺め直してみたら、今の居場所も、進むべき目的地もきつと見えてきます。見えたら、勇気を出して歩み方を変えてみましょう！きつと光が見えてきます。

#### ◇幸せな人も不幸な人も一生懸命

かつて開祖さまは「幸せな人も不幸な人もどちらも一生懸命生きているが、不幸な人は、不幸になるように不幸になるように間違ったことを間違った方法で一生懸命頑張っているんだ」と教えられました。

「火の車作る大工は無けれども己が作りて己が乗りゆく」根っから悪い人はいませんが、本当にそのとおりだなあと 생각합니다。人生のどこかの時点で、正しい真理ではなく自分流の間違った偏った考かたよえ方を持ち、不幸な方向に向かって一生懸命頑張って来られたのだと、仏さまの真理の教えに照らし合わせると

一目瞭然いちもくりようぜんなのです。しかし、自分では正しいと思つて生きて来ているので、自己採点では間違いに気付けません。教えの師に添削指導を受け、仏さまの真理の物差しで自分の人生を計り直すしかないのです。

#### ◇プロの意見を聞いて

真生会開教の出発点であつた旧本部、現在の岐阜教会の建物は築五十年を過ぎ、別館も築四十年を過ぎ老朽化し、外壁も傷んであちらこちらひびが入り、雨漏りもひどくなつてきました。

今まで素人しろうと大工で応急修理してきましたが、特に教会屋根の雨漏りが激しく、天井裏には十数個のバケツが置いてあります。今はホームセンターに行けば素人大工用の道具や材料が売っていますので、物干し場から気を付けながらおっかなびっくり大屋根に上つて瓦屋根の雨の入り込みそうな所にコーキング用のシリコンを打てるだけ打つて補修をしてきましたが、なかなか雨漏りは止まりせん。

プロのちゃんとした補修が必要と思ひ、塗装業者さんと瓦屋さんに現場を見てもらいました。

「蛇じやの道へびは蛇へび」「餅屋もちやは餅屋もちや」の諺のように専門的な分野に関しては、専門の人に聞くのが正しいのです。

現場を一目見た瓦職人さんが、開口一番「これではダメです。せつかく苦労してやられました。一番やっついけない最悪の所にコーキングをしてあります。隙間すきまを埋めたつもりが雨水の通り道を塞ふさいでダムを作り、そこに溜ためまった雨水が溢あふれ出て雨漏りになっているんです。コーキングした後の方が、前よりも余計に雨漏りしていませんか？」

言われる通り、雨漏りは止まっています。かえって屋根裏のバケツが増えました。所詮しよせん素人は素人、自分流で一生懸命やっても「労多くして効少なし」であったことが分かりました。

屋根瓦の仕組み、雨水が瓦屋根を流れていくシステムを知りませんから、一生懸命間違ったことをやっていたのです。本職からコーキングを打つ正しい場所を教えてもらって「なるほど」と納得できました。

自分流では最後苦労の末、自分が流されてしまいます。自分流でめくら減法、やみくもに頑張っても、幸せになれるどころか、やればやるほど幸せから遠ざ



「大丈夫、気を付けてやるから」と言ってお話です。

おばあさんは「私は少しでも家族の役に立てることが生き甲斐で、楽しくやっています」ということです。

私は二人に申し上げました。「娘さんの心配はもつともですが、お年寄りから仕事をとり上げたら、すぐにボケてしまいますよ。おばあさんが、なんでこんなことまでしなければならぬのかと、不足を言いながらやつていたら心配ですが、喜んでやつて見えますから、転びませんよ。娘さんも、おばあさん有り難う、助かるわ！と感謝の気持ちを忘れなかつたら、おばあさんが怪我<sup>けが</sup>をして困ることはありません。世の中は言ったとおりになりますから、『何もやつてはいけません。じつとしていけばいい』と口ぐせにしていると、病気をしても転んででも本当に動けなくなってしまうですよ。」

お年寄りの気持ち、世話をする立場の気持ちをお互いに理解し、感謝と喜びの心があれば、決して困るようなことにはなりません。

《小さな不足から、大不足が生まれ、小さな喜びから大喜びのことが生まれる》  
これが、仏さまの真理です。

# 釈尊物語

②6

## ◆◆人間の寿命は呼吸の間◆◆

ある時、お釈迦さまが弟子たちに「人のいのちの長さはどれくらいか」と尋ねられました。

今なら平均寿命から考えて「八〇年くらいかな」と思うかもしれません。

しかし、さすが修行を積んでいる弟子は違います。ある弟子は「ほんの数日です」と答えた。あと数日で死ぬぐらいの覚悟で修行しています、という意味です。またある弟子は「人の寿命は食事の間です」と答えた。朝食の後、昼食までの間に死んでしまうとしたら、いかなる

時も大切に思えるという心構えです。

ところがお釈迦さまはその弟子たちに「お前たちはまだ仏道が分かっていない」と言われた。

そして、最後にある弟子が「人のいのちはひと呼吸の中にあります」と答えたところ、お釈迦さまは「よろしい！」と言って、その弟子を認められました。

私たちのいのちは、ハ―と吐いてス―と吸う、その呼吸の中で生死を繰り返しているということなのです。生きている瞬間、瞬間が寿命だといってもよい。まさに「ひと生涯、ひと呼吸」なのです。

それなのに私たちはつい漫然まんぜんと日々を暮らし、呼吸をしていることすら忘れてしまっています。

時には自分の人生を儚<sup>はかな</sup>み、憂<sup>うれ</sup>い、生きる力を失い、自ら自分の生涯を閉ざそうとする人さえもいます。でも、人生のどんな境遇のいかなる瞬間であっても、呼吸と共にいのちが輝いているのです。

苦しみにぶつかり、頭では死にたいと思っても、いのちは生きたいと思っっている。にもかかわらず、それに気がつかずに、いのちをないがしろにしてしまつてはもつたいないことです。

朝、「行つてきます」と元気に出かけた夫や子供が、交通事故や不慮の災難に合い、無事「ただいま」と帰つてこれない人もあります。健康そうでもまさかの突然死の人もあります。

呼吸とは、息を吐いて吸うと書きます。

人間はおギャーと息を吐いて生まれ、死ぬ時は息を引き取る。

つまり、吸つた息を吐く力が無くなつた時にいのちが終わるのです。

人間は吐く息（人のために尽くし施すこと）だけでも、吸う息（自分のこと）だけでも生きられません。バランスが大切です。

色々な呼吸法がありますが、心と体の健康を保つ丹田呼吸法は、吸う息と吐く息のバランスが一对二だそうです。

自分のことより倍、人のために言葉も物も体力も時間も施すことが健康を保ち、寿命を増益<sup>ぞうやく</sup>する秘訣です。

仏教は「まず人さま」の教えです。「布施」施しが第一なのです。

# 今月の運勢（11月）

（2022年11月7日～12月6日）

## 一 白水星

最高運氣の時だが、何事も一貫性がないと成功しない。そして、最後の仕上げが大切。気を抜いて油断したら失敗し凶となる。陰日向の無い一貫性と誰に対しても差別をしない清らかな心を持つこと。

## 二 黒土星

八方塞がりの時期にいる。新しいことを始めたり、活動的に動く時ではない。今年一年を振り返り、正しく評価し、仕上げに向かって基盤を整え、エネルギーを蓄えること。

## 三 碧木星

物事が強い力で動き、

大いに盛んとなり、大きな結果が生まれる。

勢いが盛んなので正しさが無いとただの乱暴となる。頂点に達すれば下り坂となるから要注意。自分の心のコントロールが決め手。

## 四 緑木星

収穫の時期を迎えている。相手を信頼して任せれば大きな収穫となる。但し私心を持っては大失敗となり、心に誠があれば成功する。信と誠があれば、危険な冒険も勝負してよい。

## 五 黄土星

新規事業より、今日までやってきたことを完成させる時。目上の人

に親近すれば助けが得られる。何事もスピード感をもってことを進めると良い。先入観を持たず、誰にでも公正無私に接すること。

## 六 白金星

南の離宮に回座するが、志を同じくする者との結集和合が大切となる。人を集めるに当たり、私情を交えないこと。こちらの智慧と眼力が問われる。協力できれば願いは叶う。

## 七 赤金星

あるべきものがなく困窮し進退窮まるが、次の繁栄のために忍ぶ時である。困苦にも毅然として道を楽しむこと

である。言い訳せず、口を閉ざし、決心して困難をやり抜くこと。

## 八 白土星

力を失い足元が揺らいで防戦一方の不安定な時。時運に逆らわず、焦って積極的に動かないこと。ひたすら言動を慎み、慎重な態度で時を待つこと。しっかりと目標を持つこと。

## 九 紫火星

思わぬ邪魔ものや障害が現れるが、断固として取り除くこと。放置してはいけない。外敵よりも身内の獅子身中の虫に注意。断固として行いが禍根を残さぬよう慎重に行うこと。

## しあわせ眼鏡

自分の好きなことをして夢  
を叶えたいならば、  
人がやりたくないことで  
も、色々しっかり勉強する  
こと。  
そうすれば、夢を広げる力  
ができる。  
勉強が足らなければ、夢の  
選択肢が狭くなる

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |          |           |  |
|----------|-----------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>T E L 058 - 235 - 7304       |
| 【岐阜教会】   | 〒500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19<br>T E L 058 - 262 - 9615      |
| 【大阪教会】   | 〒532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】  | 〒454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10<br>T E L 052 - 351 - 3904  |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り  
します。詳しくはお尋ねください。